

トピックス

十周年を迎えて

女子連秋田県支部

杉山 恵美子

日本女子テニス連盟秋田県支部は、今年で結成十周年を迎えました。十年前というとちょうど朝日レディースの始まった年で、この大会参加をきっかけに発足したわけですが、本県では女性の硬式テニス経験者が少なかったため、当時の役員の方のご苦労は大変なものだったようです。以来、一般のテニス人気にもささえられて会員数も次第に増え、運営も年々充実したものになってまいりました。

女子テニスの底辺拡大というこれまでの基本方針に変わりはありませんが、審判技術の習得、ジュ



ニアの指導など新しい課題にも取りくみつつあり、今後はテニス協会とも密接な協力が必要になると思います。

十周年にあたって、私なりに考えていることをあげてみますと、

一、会員の増強と組織の拡大

各種トーナメントに年令別、経験別を取り入れ、より多数の方が

参加できるようにする。また、秋田市周辺に限られていた活動を全国的な規模に拡げていきたい。そのため三年前から県内各地に役員

が出向いて講習会を開き組織づくりに努めております。

二、ジュニアの指導

夏休みの五日間に行う「母と子のテニススクール」も今年で六回

目となりました。今後はショートテニスを導入して、子どもにテニスの楽しさを教え、協会のジュニア指導につなげていきたいと思えます。その準備段階として、今回ショートテニス指導の講習会を行いました。

これまでの活動が評価されたのでしょうか。この七月十二日、テニス愛好者の拡大と技術向上に尽力したということで、秋田市より体育振興部門の表彰を受けました。十周年の記念として大変嬉しいことですが、これを機会にテニス協会の協力団体としても御期待にそえるようがんばっていききたいと考えております。

